

安全データシート

1. 製品及び会社情報

[製品の名称] 製品の名称 24%グリーンジェル

[会社情報] 会社名 ペントロンジャパン株式会社
住所 〒140-0014 東京都品川区大井 4-13-17-5F/6F
電話番号 03 - 5746 - 0316
FAX 番号 03 - 5746 - 0320

2. 危険有害性の要約

健康有害性	皮膚腐食性及び刺激性	区分1
	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分1
	生殖毒性	区分2
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1(呼吸器系、腎臓)
環境有害性	水生環境有害性(急性)	区分3

絵表示又はシンボル



注意喚起語
危険有害性情報

危険
重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
重篤な眼の損傷
眼刺激,
水生生物に有害
生殖能力または胎児への悪影響のおそれの疑い,
長期または反復暴露による臓器の障害(呼吸器系、腎臓)

注意書き

【安全対策】

- ・使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
- ・適切な個人用保護具を使用すること。
- ・適切な保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- ・粉塵、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
- ・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・取扱い後はよく手を洗うこと。容器を密閉しておくこと。

【応急措置】

- ・吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・吸入した場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- ・飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
- ・皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
- ・気分が悪い時は、医師の診断、手当を受けること。
- ・汚染された衣類をすべて脱ぐこと。
- ・眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・眼に入った場合、眼の刺激が続く場合は医師の診断、手当を受けること。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

【補足】

皮膚などに付着すると人によっては炎症を起こす可能性がある。

取扱い後は徹底的に洗うこと。

通常の手配では、火災の危険性は極めて低い。

【他の分類されない危険性】

情報なし。

3. 成分の組成情報

単一製品・混合物の区別： 混合物

成分及び含有量：

成分名	CAS No.	化審法 No.	安衛法 No.
EDTA	60-00-4	2-1263	-
水酸化ナトリウム	1310-73-2	1-410	-
蒸留水	7732-18-5	-	-
その他	非公開	-	-

・化審法： 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）官報公示整理番号

・安衛法： 労働安全衛生法(安衛法) 名称等を通知すべき有害物（法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2）

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合

直ちに流水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外して洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、眼科医の診察、手当を受けること。

飲み込んだ場合

水で口の中をよく洗浄する。気分が悪い時、痛みが続く場合は、直ちに医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合

多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断、手当を受けること。

汚染された衣類類を再使用する場合は、洗濯、汚染の除去をすること。

5. 火災時の措置

消火剤

周囲の環境に適した消火方法を行うこと。

水、粉末・二酸化炭素、乾燥砂、泡。

消火を行う者の保護

適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

関係者以外の立ち入りを禁止する。適切な保護具を着用すること。

風上から作業し、風下の人を退避させること。着火源となるものを取り除くこと。

環境に対する注意事項

河川、水路や下水に流れ込ませないように注意すること。

除去方法

不活性物質(おがくず、ウェス、砂等)で吸収し、密閉できる空容器に回収すること。

追加情報 完全に回収後、汚染された場所およびその周辺を大量の水で洗浄すること。付着物、回収物等は関係法規に基づき速やかに処分すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い注意 作業者は暴露防止のため、取扱いは換気の良い場所で行うこと。作業場の近くに緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置すること。発散した製品を吸い込まないように、風上から作業すること。皮膚に付いたり、粉塵を吸入しないように必要に応じて適切な保護具を着用すること。

保管注意 直射日光を避け、換気のよいなるべく涼しい場所に密閉し、施錠して保管すること。
歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 局所排気装置、手洗い・洗顔設備、安全シャワー、洗眼器等
保護具 呼吸用保護具 粉塵が発生する場合は、防塵マスクを着用する。
手の保護具 保護手袋 眼の保護具 保護眼鏡

9. 物理的及び化学的性質

外観	形状	粘性液体
	色	緑色透明
	臭い	無臭
物理的状態の変化に関する情報		
融点/融解範囲		データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲		データなし
引火点		データなし
自然発火温度		データなし
爆発範囲		データなし
密度		データなし
蒸気圧		データなし
粘度		データなし
pH 値		データなし
水への溶解性/混和性		データなし
有機溶媒		データなし
水		データなし
固体の割合		

10. 安定性及び反応性

安定性 通常条件では安定。
危険な分解性生物 窒素酸化物

11. 有害性情報

発がん性 データなし。
許容濃度 データなし
摂取経路 吸入(ダストの形で)/経口摂取、皮膚や目。

12. 環境影響情報

環境影響に関する情報はなし。

分解性： データなし
蓄積性： データなし
魚毒性： データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄の方法

診療使用前は、通常の産業廃棄物と同様に取り扱う。
その他関係法令の定めるところに従う。

14. 輸送上の注意

国内規制

陸上規制情報

消防法の規定に従う。

海上規制情報

船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報

航空法の規定に従う。

国際規則

海上規制情報

IMDG(国際海上危険物規則)の規定に従う。

航空規制情報

IATA(国際航空輸送協会)の規定に従う。

特別の安全対策

輸送前に容器の破損、腐食、漏れのないことを確かめること。転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。該当法規に従い、包装、表示、輸送を行うこと。

15. 適用法令

法規制情報は作成年月日時点に基づいて記載されております。事業場において記載するに当たっては、最新情報を確認してください。

労働安全衛生法 非該当

消防法 非該当

毒劇物取締法 非該当

16. その他の情報

本記載内容は、現時点で弊社が入手した資料・情報・データに基づいて作成しておりますが、新しい知見により改訂されることがあります。

注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合には、十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

以上は情報提供であり、個々の用途に対する本品及び本記載内容の適合性を保証するものではありません。

改訂履歴

01 2023年12月25日 初版

化学物質管理促進法 PRTR・MSDS 対象物質全データ 化学工業日報社
労働安全衛生法 MSDS 対象物質全データ 化学工業日報社(2007)
化学物質の危険・有害便覧 中央労働災害防止協会編
化学大辞典 共同出版
安衛法化学物質 化学工業日報社
産業中毒便覧(増補版) 医歯薬出版
化学物質安全性データブック オーム社
公害と毒・危険物(総論編、無機編、有機編) 三共出版
化学物質の危険・有害性便覧 労働省安全衛生部監修
Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH CD-ROM

GHS 分類結果データベース nite(独立行政法人 製品評価技術基盤機構) HP
GHS モデル MSDS 情報 中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター HP
JCIA BIGDr (一社) 日本化学工業協会「化学物質リスク評価支援ポータルサイト」 HP
職場のあんぜんサイト>安衛法名称公表化学物質等 厚生労働省 HP
NITE 化学物質総合情報提供システム nite(独立行政法人 製品評価技術基盤機構) HP
GHS 分類結果データベース nite(独立行政法人 製品評価技術基盤機構) HP
GHS 混合物分類判定システム 経済産業省